

国土数値情報
(歴史的風致維持向上計画の重点区域)
製品仕様書
第 1.0 版

平成 31 年 3 月
国土交通省国土政策局

【改定履歴】

版	更新日	改定内容
第 1.0 版	2019 年 3 月	初版

目次

1 概覧.....	1
1.1 空間データ製品仕様書の作成情報.....	1
1.2 言語：日本語.....	1
1.3 目的.....	1
1.4 適用範囲.....	1
1.5 引用規格.....	2
1.6 用語と定義.....	2
1.7 略語.....	2
1.8 参考資料.....	2
2 適用範囲.....	3
2.1 適用範囲識別.....	3
2.2 階層レベル.....	3
3 データ製品識別.....	3
3.1 製品仕様識別.....	3
4 データ内容および構造.....	4
4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書.....	4
4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ.....	4
4.1.2 指定地域パッケージ.....	5
4.1.3 歴史的風致維持向上計画の重点区域パッケージ.....	6
4.1.4 共通パッケージ.....	8
4.2 空間スキーマプロファイル.....	8
4.3 時間スキーマプロファイル.....	9
5 参照系.....	10
5.1 座標参照系.....	10
5.2 時間参照系.....	10
6 データ品質.....	11
7 データ製品配布.....	14
7.1 配布書式情報.....	14
7.2 配布媒体情報.....	14
8 メタデータ.....	15
付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧.....	1
付属資料-2 符号化仕様.....	2

1 概覧

1.1 空間データ製品仕様書の作成情報

本製品仕様書の作成に関する情報は以下のとおりとする。

- 空間データ製品仕様書の題名：国土数値情報（歴史的風致維持向上計画の重点区域）製品仕様書 第 1.0 版
- 日付：2019 年 3 月 15 日
- 作成者：国土交通省 国土政策局 国土情報課

1.2 言語：日本語

- 分野：指定地域
- 文書書式：PDF

1.3 目的

国土数値情報は、国土形成計画、国土利用計画などの国土計画の策定や実施の支援のために作られたものであるが、各分野で広く利用されることも想定している。

本データは、平成 20 年の「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（愛称：歴史まちづくり法）によって制定された、歴史的風致の維持向上を図ろうとする市町村が作成し、主務大臣（文部科学大臣，農林水産大臣，国土交通大臣）が認定した、歴史的風致維持向上計画内で定められている重点区域範囲を整備したものである。

1.4 適用範囲

本製品仕様書が適用されるデータの適用範囲は以下のとおりである。

- 空間範囲
日本全国
- 時間範囲
平成 31 年 1 月 1 日時点

1.5 引用規格

本製品仕様書は以下の規格から引用する。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 版 平成 26 年 4 月

1.6 用語と定義

本製品仕様書で使用される専門用語とその定義は、以下の資料に従う。

- 地理情報標準プロファイル (JPGIS) 2014 版「附属書 5 (規定) 定義」
- 国土交通省国土政策局 GIS ホームページ ガイダンス
URL : <http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/gis/guidance/index.html>

1.7 略語

本製品仕様書で使用される略語は、以下のとおりとする。

- JPGIS Japan Profile for Geographic Information Standards
- JMP Japan Metadata Profile
- UML Unified Modeling Language

1.8 参考資料

国土数値情報で使用されるコードリスト等については、以下のサイトを参照。

国土数値情報ダウンロードサービス

URL : <http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/>

2 適用範囲

本製品仕様書の適用範囲は次のとおりとする。

2.1 適用範囲識別

国土数値情報（歴史的風致維持向上計画の重点区域）製品仕様書第 1.0 版適用範囲

2.2 階層レベル

データ集合

3 データ製品識別

3.1 製品仕様識別

本製品仕様書に基づくデータ製品の識別は、次のとおりとする。

■ 空間データ製品の名称

国土数値情報（歴史的風致維持向上計画の重点区域）データ

■ 日付

2019年3月15日

■ 問合せ先

国土情報提供サイト運営事務局

<http://nlftp.mlit.go.jp/inquiry.html>

■ 地理記述

全国

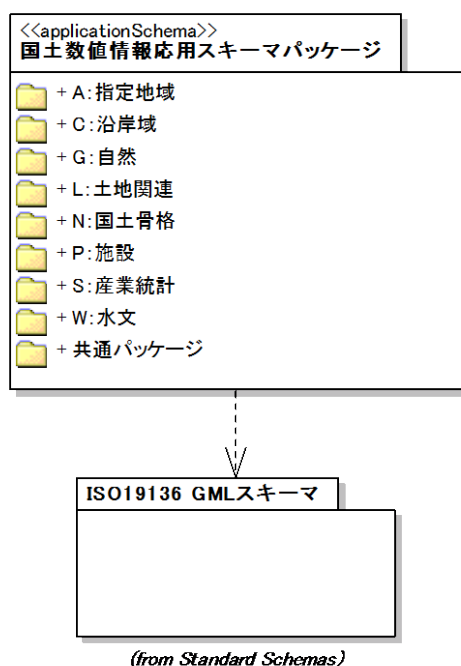
4 データ内容および構造

本章では、本製品仕様書が扱う国土数値情報に関する UML クラス図および定義文書を記す。

4.1 応用スキーマクラス図および応用スキーマ文書

4.1.1 国土数値情報応用スキーマパッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマを構成する各パッケージの依存関係を示したものである。国土数値情報応用スキーマは、国土数値情報を分類したパッケージと、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリスト等をまとめた共通パッケージより構成される。国土数値情報応用スキーマに含まれる地物およびメッシュは、指定地域や沿岸域等のカテゴリにおいて定義される。



4.1.2 指定地域パッケージ

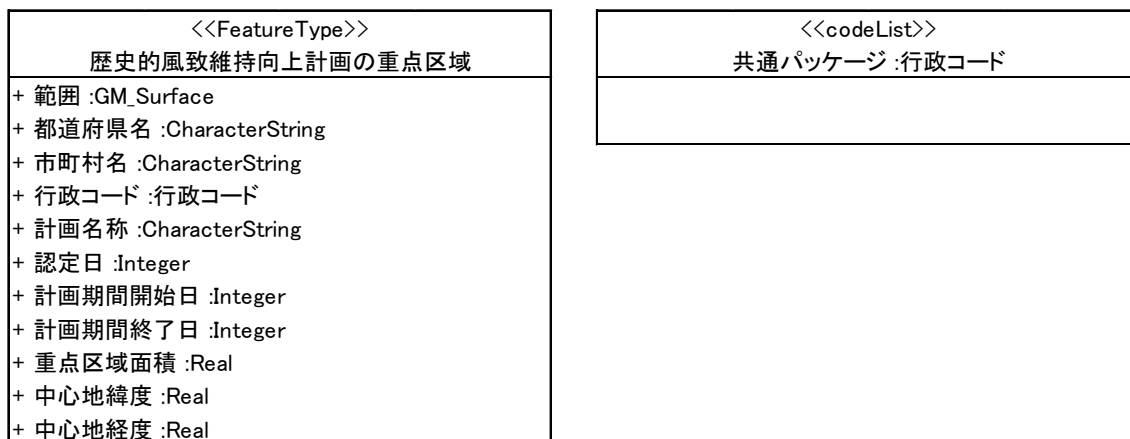
このパッケージは、指定地域に関するパッケージをまとめたものである。

<<ApplicationSchema>> A02-a: 指定地域3次メッシュ	<<ApplicationSchema>> A02-b: 指定地域細分メッシュ	<<ApplicationSchema>> A03: 三大都市圏計画区域	<<ApplicationSchema>> A05: 森林・国有地メッシュ
<<ApplicationSchema>> A07: リゾート法指定地域	<<ApplicationSchema>> A09: 都市地域	<<ApplicationSchema>> A10: 自然公園地域(平成18年度)	<<ApplicationSchema>> A10: 自然公園地域(平成22年度)
<<ApplicationSchema>> A11: 自然保全地域	<<ApplicationSchema>> A12: 農業地域	<<ApplicationSchema>> A13: 森林地域	<<ApplicationSchema>> A15: 鳥獣保護区域
<<ApplicationSchema>> A16: 人口集中区域	<<ApplicationSchema>> A17: 過疎地域	<<ApplicationSchema>> A18: 半島振興対策実施地域	<<ApplicationSchema>> A19: 離島振興対策実施地域
<<ApplicationSchema>> A20: 奄美群島	<<ApplicationSchema>> A21: 小笠原諸島	<<ApplicationSchema>> A22: 豪雪地帯	<<ApplicationSchema>> A23: 特殊土地地帯
<<ApplicationSchema>> A24: 振興山村	<<ApplicationSchema>> A25: 特定農山林地域	<<ApplicationSchema>> A26: 土砂災害危険箇所	<<ApplicationSchema>> A27: 公立小学校・通学区域
<<ApplicationSchema>> A28: 世界自然遺産	<<ApplicationSchema>> A29: 用途地域	<<ApplicationSchema>> A30a: 土砂災害・雪崩メッシュ	<<ApplicationSchema>> A30b: 竜巻等のメッシュ
<<ApplicationSchema>> A31: 浸水想定区域	<<ApplicationSchema>> A32: 中学校区	<<ApplicationSchema>> A33: 土砂災害警戒区域	<<ApplicationSchema>> A34: 世界文化遺産
<<ApplicationSchema>> A35a: 景観計画区域	<<ApplicationSchema>> A35b: 景観地区・準景観地区	<<ApplicationSchema>> A35c: 景観重要建造物・樹木	<<ApplicationSchema>> A37: 半島循環道路
<<ApplicationSchema>> A38: 医療圏	<<ApplicationSchema>> A39: 平時の噴火警戒レベル関連情報	<<ApplicationSchema>> A40: 津波浸水想定区域	<<ApplicationSchema>> A41: 地震被害想定
<<ApplicationSchema>> A42: 歴史的風土保存区域	<<ApplicationSchema>> A43: 伝統的建造物群保存地区	<<ApplicationSchema>> A44: 歴史的風致維持向上計画の重点区域	

4.1.3 歴史的風致維持向上計画の重点区域パッケージ

このパッケージは、歴史的風致維持向上計画の重点区域に関する内容をまとめたものである。

4.1.3.1 応用スキーマクラス図



4.1.3.2 応用スキーマ文書

歴史的風致維持向上計画の重点区域

平成 20 年の「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」（愛称：歴史まちづくり法）によって制定された，歴史的風致の維持向上を図ろうとする市町村が作成し，主務大臣（文部科学大臣，農林水産大臣，国土交通大臣）が認定した，歴史的風致維持向上計画内で定められている重点区域範囲

原典資料を次に示す。

各市町村から提供された歴史的風致維持向上計画の重点区域
国土地理院 「地理院地図」

上位クラス：

抽象/具象区分：具象

属性

範囲：GM_Surface

歴史的風致維持向上計画の重点区域の範囲。

都道府県名：CharacterString

歴史的風致維持向上計画の重点区域が存在する都道府県名。

市町村名：CharacterString

歴史的風致維持向上計画の重点区域が存在する市町村名。

行政コード：行政コード

都道府県コードと市区町村コードからなる，行政区を特定するためのコード。

JIS 規格（JIS X 0401，JIS X 0402）に準拠する。

■ 定義域

JIS 規格が定める 5 ケタのコード値。

計画名称：CharacterString

歴史的風致維持向上計画の重点区域の名称。

認定日：Integer

歴史的風致維持向上計画の重点区域の認定日。「YYYYMMDD」形式とする。

計画期間開始日：Integer

歴史的風致維持向上計画の重点区域の計画期間開始日。「YYYYMMDD」形式とする。

計画期間終了日：Integer

歴史的風致維持向上計画の重点区域の計画期間終了日。「YYYYMMDD」形式とする。

重点区域面積：Real

歴史的風致維持向上計画の重点区域の面積。単位は「ha」とする。

中心地緯度：Real

歴史的風致維持向上計画の重点区域の重心の緯度。座標参照系は「JGD2011 / (B,L)」とする。

中心地経度：Real

歴史的風致維持向上計画の重点区域の重心の経度。座標参照系は「JGD2011 / (B,L)」とする。

4.1.4 共通パッケージ

このパッケージは、国土数値情報応用スキーマで共通に使用するコードリストをまとめたものである。

なお、歴史的風致維持向上計画の重点区域パッケージで使用するコードリストは以下のとおりである。

- ・行政コード

コードリストについては、本製品仕様書「1.7 参考資料」の参照先を参照。

4.2 空間スキーマプロファイル

国土数値情報の空間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第2.1版 空間スキーマ」を採用する。

4.3 時間スキーマプロファイル

国土数値情報の時間スキーマプロファイルは「地理情報標準プロファイル (JPGIS) 第 2.1 版 時間スキーマ」を採用する。

5 参照系

5.1 座標参照系

参照系識別子 : JGD2011 / (B, L)

5.2 時間参照系

参照系識別子 : GC/JST

6 データ品質

品質要素	完全性・過剰
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、原典データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合内に存在する過剰なデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原典データと対応関係がとれない地物インスタンスがデータ集合内に存在する場合。 ・ データ集合内に同一の地物インスタンスが重複して存在する場合。本体を除き、重複している余分なデータの個数をすべてエラーとして数える。 <p>誤率（%）＝（過剰なデータ数／原典データに含まれるデータの総数）×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ③計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> 誤率＝0% であれば“合格” 誤率＞0% であれば“不合格”
適合品質水準	過剰なデータの割合：0%

品質要素	完全性・漏れ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	<p>データ集合と、原典データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の一対一の比較を行い、対応が成立した個数を数え、データ集合から漏れているデータ（エラー）の割合（誤率）を計算する。次の場合、エラーとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原典データと対応すべき地物インスタンスが、データ集合内に存在しない場合。 <p>誤率（%）＝（漏れのデータ数／原典データに含まれるデータの総数）×100</p>
データ品質評価手法	<p>全数検査を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①地物型の識別ができるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ③計算した誤率と適合品質水準とを比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 <ul style="list-style-type: none"> 誤率＝0% であれば“合格” 誤率＞0% であれば“不合格”
適合品質水準	データの漏れの割合：0%

品質要素	論理一貫性・書式一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合の書式（フォーマット）が、整形形式となっていない箇所（XML 文書の構文として正しくない箇所）の割合（誤率）を計算する。データ集合は、整形形式の XML 文書（Well-Formed XML）でなければならない。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 データ集合のファイルの書式が XML の文法（構文）に適合しているか、検査プログラム（XML パーサなど）によって評価する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	XML 文書の構文のエラーの割合：0%

品質要素	論理一貫性・概念一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	符号化仕様が規定する XML スキーマに対する、データ集合に存在する矛盾の割合（誤率）を計算する。データ集合は、妥当な XML 文書（Valid XML document）でなければならない。 XML スキーマに対する XML 文書の妥当性の検査に加え、次の項目についても検査する。 ■地物に関する検査項目 地物インスタンスの型（地物型）が、応用スキーマが規定する地物型と合致しない場合エラーとする。 ■空間スキーマに関する検査項目 データ集合内のどの地物インスタンスからも参照されない幾何要素が存在する場合、エラーとする。
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 応用スキーマを表現する XML スキーマとデータ集合に矛盾がないか、検査プログラム（バリデータなど）によって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	符号化仕様の XML スキーマに対する矛盾の割合：0%

品質要素	論理一貫性・定義域一貫性
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	地物属性インスタンスの値が、応用スキーマに規定される定義域の範囲に含まれていない場合、その個数をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 誤率（%）＝（定義域外の値をもつ地物属性の数／データ集合内の地物属性の総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 属性の値が、主題属性の定義域並びに地物の空間及び時間範囲の定義域の中にあるか、検査プログラムによって検査する。一つ以上のエラーがあれば、“不合格”とする。
適合品質水準	地物属性の定義域一貫性のエラーの割合：0%

品質要素	位置正確度・絶対正確度
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合と原典データを、原典データの縮尺で重ねて表示し、データ集合内の地物の位置と原典データの地物の位置が、図上 1mm 以上ずれている場合、その地物をエラーとして数え、その割合（誤率）を計算する。 誤率（%）＝（エラーとなる地物の数／データ集合内の地物の総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ①地物の位置が識別できるように、地物および原典データを重ね合わせて表示又は出力する。 ②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 “適合品質水準≧誤率”であれば“合格” “適合品質水準<誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	絶対正確度のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・分類の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合と、原典データとの比較を行い、地物型が正しく特定されていないデータ数を数え、その割合（誤率）を計算する。 誤率（%）＝（地物型が正しく特定されていないデータ数／原典データに含まれるデータの総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ①地物型が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 “適合品質水準≧誤率”であれば“合格” “適合品質水準<誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	地物型の分類のエラーの割合：0%

品質要素	主題正確度・非定量的主題属性の正しさ
データ品質適用範囲	データ集合全体
データ品質評価尺度	データ集合と、原典データに含まれる個々のデータ（地物インスタンス）同士の一対一の比較を行い、データ集合内に存在する誤った地物属性インスタンス（エラー）の割合（誤率）を計算する。 誤率（%）＝（地物属性のエラー数／検査した地物属性の総数）×100
データ品質評価手法	全数検査を実施する。 ①地物属性の値が識別できるように、適用範囲に含まれるデータ（地物インスタンス）を表示又は出力する。 ②データ品質評価尺度に基づき、誤率を計算する。 ③計算した誤率と適合品質水準を比較し、以下の判定式に基づき合否を判定する。 “適合品質水準≧誤率”であれば“合格” “適合品質水準<誤率”であれば“不合格”
適合品質水準	非定量的な主題属性のエラーの割合：0%

7 データ製品配布

7.1 配布書式情報

■ 書式名称

JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 (規定) 地理マーク付け言語 (GML)

■ 符号化仕様

国土数値情報応用スキーマの XML Schema は、JPGIS 第 2.1 版 附属書 12 の符号化規則に従う。また、国土数値情報応用スキーマが参照する基本データ型スキーマ、空間スキーマ、時間スキーマ等の標準スキーマの XML Schema は、次の URL に掲載されている XML Schema を使用する。

http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/

国土数値情報（歴史的風致維持向上計画の重点区域）応用スキーマの XML Schema で使用する名前空間および名前空間接頭辞は次のとおりとし、XMLSchema については付属資料を参照のこと。

名前空間：<http://nlfpt.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app>

名前空間接頭辞：ksj

■ 文字集合

UTF-8

■ 言語

日本語を使用する。

7.2 配布媒体情報

■ 単位

全国

■ 媒体名

下記サイトよりダウンロード。下記サイトでは、国土数値情報を無償で一般公開している。

国土数値情報ダウンロードサービス (JPGIS 準拠データ)

URL：<http://nlfpt.mlit.go.jp/ksj/>

8 メタデータ

本製品仕様書のメタデータは、**JMP2.0**を採用する。

国土数値情報(歴史的風致維持向上計画の重点区域)

製品仕様書第 1.0 版

付属資料

付属資料-1 符号化仕様作成のためのタグ一覧

	クラス	属性・関連役割	型	タグ名	英語名(属性・関連役割のみ)
指定地域					
A44 歴史的風致維持向上計画の重点区域					
	歴史的風致維持向上計画の重点区域			PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeauty	Priority Area of Plan for the Maintenance and Improvement of Historical Scenic Beauty
	範囲	GM_Surface		PolygonOfPriorityArea	Polygon of Priority Area
	都道府県名	CharacterString		PrefectureName	Prefecture Name
	市町村名	CharacterString		LocalGovernmentName	Local Government Name
	行政コード	行政コード		AdministrativeAreaCode	Administrative Area Code
	計画名称	CharacterString		PlanName	Plan Name
	認定日	Integer		DateOfAssessment	Date of Assessment
	計画期間開始日	Integer		PlanningPeriodStartDate	Planning period start date
	計画期間終了日	Integer		PlanningPeriodEndDate	Planning period end date
	重点区域面積	Real		Area	Area
	中心地緯度	Real		CenterOfLatitude	Center of Latitude
	中心地経度	Real		CenterOfLongitude	Center of Longitude

付属資料-2 符号化仕様

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<xsd:schema xmlns:ksj="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app"
xmlns:gml="http://www.opengis.net/gml/3.2" xmlns:sch="http://www.ascc.net/xml/schematron"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
targetNamespace="http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/schemas/ksj-app" elementFormDefault="qualified"
version="1.0">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>歴史的風致維持向上計画の重点区域</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
  <!-- 外部参照 -->
  <xsd:import namespace="http://www.opengis.net/gml/3.2"
schemaLocation="http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/ISO_19136_Schemas/gml
.xsd" />
  <xsd:include schemaLocation="Ksj_Common.xsd" />
  <!-- 基底要素 -->
  <xsd:element name="Dataset">
    <xsd:complexType>
      <xsd:complexContent>
        <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
          <xsd:choice minOccurs="0" maxOccurs="unbounded">
            <xsd:element ref="gml:AbstractGML" />
            <xsd:element ref="gml:CompositeValue" />
          </xsd:choice>
        </xsd:extension>
      </xsd:complexContent>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
  <!-- 要素定義 -->
  <xsd:element name="PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeauty"
type="ksj:PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeautyType"
substitutionGroup="gml:AbstractFeature" />
  <xsd:complexType name="PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeautyType">
    <xsd:annotation>
      <xsd:documentation>歴史的風致維持向上計画の重点区域</xsd:documentation>
    </xsd:annotation>
  </xsd:complexType>

```

```

</xsd:annotation>
<xsd:complexContent>
  <xsd:extension base="gml:AbstractFeatureType">
    <xsd:sequence minOccurs="1" maxOccurs="1">
      <xsd:element name="PolygonOfPriorityArea" type="gml:SurfacePropertyType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>範囲</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="PrefectureName" type="xsd:string">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>都道府県名</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="LocalGovernmentName" type="xsd:string">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>市町村名</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="AdministrativeAreaCode" type="gml:CodeType">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>行政コード</xsd:documentation>
          <xsd:appinfo>
            <xml:defaultCodeSpace>AdministrativeAreaCode.xml</xml:defaultCodeSpace >
          </xsd:appinfo>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="PlanName" type="xsd:string">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>計画名称</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>
      </xsd:element>
      <xsd:element name="DateOfAssessment" type="xsd:integer">
        <xsd:annotation>
          <xsd:documentation>認定日</xsd:documentation>
        </xsd:annotation>

```

```

</xsd:element>
<xsd:element name="PlanningPeriodStartDate" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>計畫期間開始日</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="PlanningPeriodEndDate" type="xsd:integer">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>計畫期間終了日</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="Area" type="xsd:double">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>重点区域面積</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="CenterOfLatitude" type="xsd:double">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>中心地緯度</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
<xsd:element name="CenterOfLongitude" type="xsd:double">
  <xsd:annotation>
    <xsd:documentation>中心地經度</xsd:documentation>
  </xsd:annotation>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:extension>
</xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeautyPropertyType">
  <xsd:sequence minOccurs="0">
    <xsd:element ref="ksj:PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeauty" />
  </xsd:sequence>
  <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
  <xsd:attributeGroup ref="gml:OwnershipAttributeGroup" />

```



```
</xsd:complexType>
<xsd:complexType name="PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeautyMemberType">
  <xsd:complexContent>
    <xsd:extension base="gml:AbstractMemberType">
      <xsd:sequence minOccurs="0">
        <xsd:element ref="ksj:PriorityAreaOfPlanForHistoricalScenicBeauty" />
      </xsd:sequence>
      <xsd:attributeGroup ref="gml:AssociationAttributeGroup" />
    </xsd:extension>
  </xsd:complexContent>
</xsd:complexType>
</xsd:schema>
```